

令和2年度 第1回 ぶんきょう歌壇・俳壇 作品発表

歌壇

大下 一真 選

特選

夕映えの長き季なり屋根の上を去らずにあそぶ雀たちのこゑ

本駒込 唐木 よし子

メールにてコロナ対策教えあう喜寿を迎えるクラスメイトは

小石川 狩谷 求

古希前に友は娘のそばに越し標札跡に春の雨降る

千駄木 伊藤 恵津子

入選

くずをれる薔薇の園に佇みて老いて独りの行く末思ふ

大塚 小出 風沙子

大楠の剪定終えて見透かせば最寄りの駅ビルこんなに近い

大塚 奥山 博子

麦秋の黄と馬鈴薯の葉のみどりだんだら模様どこまで続く

小石川 須藤 敦子

入学の子等に春の日降り注ぐ今年の式は青空の下

水道 菅井 茂子

叶うなら飛んで行きたやフルムーンウイルスの居ない美しき衛星

小日向 内野 仙也

生きるため人にとりつくウイルスは人を殺める矛盾を生きる

千石 菊地 正矩

我もまた感染源に成り得ると自粛守りて花の手入れす

千駄木 上杉 紀世子

俳壇

松澤 雅世 選

特選

空一枚桜一面一人かな

西片 中島 多津子

茶柱の傾き始む目借時

向丘 丸岡 正児

草餅の凹みのかたち母の指

大塚 奥山 興悦

入選

春惜しむドアに鍵かけテレワーク

駒込 横塚 敏子

爪伸びる早やさばかりや老の春

大塚 小出 風沙子

摘草や一町程も歩きけり

本郷 町田 菊男

春一番橋の半ばで戻るかな

千石 菊地 正矩

花吹雪家の中まで持ち帰る

小石川 佐々木 節子

鳴るたびに静けきつのる鉄風鈴

千駄木 望月 清彦

切通しむらさきになる藤の風

千駄木 江川 盾雄